

研修報告

議会広報編集特別委員会

研修目的

・議会広報の編集について

研修地

・兵庫県・但東町

研修結果

但東町は、兵庫県の東北部にあつて半島のように京都府側に突き出ており、北・東・南を京都府と接している、面積161.9平方km、人口約5,700人の町です。

兵庫県は県下全般において議会広報活動が活発で、県内での議会広報コンクールが行われており、但東町は過去に5～6回入選した実績があり、昨年は奨励賞を受賞しました。

年4回発行の議会だより編集において、内容が固定化しているのではないかと。本会議・一般質問等議会の動きが町民のみなさんに伝わっていないのか、と言う問いかけに対してまだまだだと悩んでいるとのことでした。

議会だよりは、堅苦しく読みづらくなりやすいので町民

のみなさんに興味を持って読んでいただくことを目的に、何か一つテーマを決めて編集をしたり、まちの話題や店の紹介等を載せるなど工夫をしています。また、文章は専門用語をなるべく使わず中学生でも分かる程度に、読者の立場に立つて読みやすい広報づくりを心がけていました。そのため一般質問のページでは、議員一人の掲載範囲を半ページと決め、その中におさまるように全ての質問内容を掲載するのではなく、要約して掲載してありました。

特筆すべきは、合併問題への取り組みとして「動く広報誌活動」をキャッチフレーズに、議会自らが単独で各地域へ出向いて住民と「合併問題を語る会」を開催して意見交換を行い、結果を議会だより「合併問題特集号」や、定期発行のなかの特集記事などで広報し、行政サイドとは別に独自の活動をしていることと、議長経験のベテラン議員が自ら率先して議会広報に携わっていることで、たいへん

考えさせられる取り組みであると感じました。

当町の議会だより特に一般質問の記事に対して、文字数が多く読みづらいのではないかと。文字を少なく、行間を開けて、写真を大きく、要点をしぼって、読みやすくすべきではないかと指導をいただきました。

また研修先について、市町村の議会だよりを研修するのも良いが、但東町では「兵庫ジャーナル」という民間のミニコミ誌で研修をしたことがたいへん参考になり今の広報編集に生きている。こういった研修をすることも良い方法であるとのことでした。

このような研修を行い、今後の広報誌づくりに活かして紙面の充実に向けて参ります。



請願

国立病院の独立行政法人化にあたり、賃金職員の雇用継承と医療・看護体制の拡充、院内保育所の継続を求める請願書

内容は、地域住民の要望に応じて、国立病院の機能強化を図ること。独立行政法人移行にあたり、すべての賃金職員を正職員として雇用継承すること。医療の複雑高度化に対応し、安全でゆきとどいた医療・看護を提供すること。国立病院の院内保育所の継続と安定した運営を図るため、保育所職員の雇用を継承するとともに、児童福祉法の基準を満たす職員配置や設備を改善すること。の意見書を関係機関に提出してほしいというものです。

自衛隊のイラク派兵に反対する意見書採択をもとめる請願書

主旨は、イラクで日本人外交官2名が銃撃され、死亡する痛ましい事件が発生した。

2人の外交官の悲劇は身をもってイラク派兵は危険であることを教えてくれた。いま求められているのは、自衛隊のイラク派兵ではなくイラク国民の意思にもとづく復興と国連のもとで平和憲法にもとづく人道援助を行うことである。第二の犠牲者を出さないためにも、自衛隊のイラク派兵に反対する意見書を国に上げてほしいというものです。

この2件と、紙面の関係で内容は掲載できませんが次の4件が提出されました。

年金改悪反対、大増税の中止を求める請願書

2004年の年金改悪反対と、「最低保障年金制度」創設の意見書採択を求める請願書

住民が利用できる介護保険への改善を求める請願書
住民医療の充実に関する請願書

以上、6件の請願について審査した結果、不採択にすべきという意見が多数であったので、全て不採択となりました。